



## 7つの方法

でデジタルワークスペース  
導入を簡素化する



# 目次

**第1章** デジタルワークスペースサーバーとストレージリソース管理を簡素化する方法

**第2章** Citrix Virtual Apps and Desktopsのコントロールプレーンを簡素化する方法

**第3章** デジタルワークスペースソリューションの仮想化およびファイルサービスを簡素化する方法

**第4章** デジタルワークスペースセキュリティを簡素化する方法

**第5章** レポート作成、分析、および問題修復を簡素化する方法

**第6章** 統合型ワークスペースを簡素化する方法

**第7章** 事業継続性とハイブリッドマルチクラウドを簡素化する方法

**まとめ**

---

## はじめに

現代のワークスペースは劇的な変化を遂げました。世界中の組織はコストを下げながら、事業の生産性、継続性、俊敏性、およびセキュリティを確保するためにデジタルワークスペースソリューションを導入しています。しかし、デジタルワークスペースの導入は「言うは易く行うは難し」なのです。

デジタルワークスペース自体は新しくないものの、展開と運用面の複雑性によって、組織はこうしたソリューションが提供するメリットを実現できずにいました。幸い、この複雑性を大幅に軽減することが可能なソリューションは存在します。シンプルでセキュア、そして高性能なデジタルワークスペースソリューションを構築するには、スタックのあらゆるレイヤにおいて適切なテクノロジーの選択が求められます。

今回のeBookでは、Nutanixハイブリッドクラウドプラットフォーム上でCitrix Virtual Apps and Desktopsを実行することでソリューションを簡素化し、卓越したユーザーエクスペリエンス、事業の生産性および俊敏性の向上、リスク低減、および投資利益率(ROI)の改善が可能になる点について解説していきます。

各章では、完全なデジタルワークスペースソリューションの重要な側面をご紹介します。また、管理者が直面する従来の課題について説明し、Nutanix上でCitrixを実行するハイブリッドおよびマルチクラウドソリューションが、長年にわたって管理者を悩ませてきた落とし穴(延々と続く遅延、基準未満のパフォーマンス、劣悪なユーザーエクスペリエンス過剰な運用オーバーヘッドおよびコスト)を回避する上でどのように役立つのか説明します。  
**このまま、Citrix on Nutanixの詳細をお読みください!**



# Nutanix上で**実行する** Citrixデジタルワークスペースソリューションのメリット

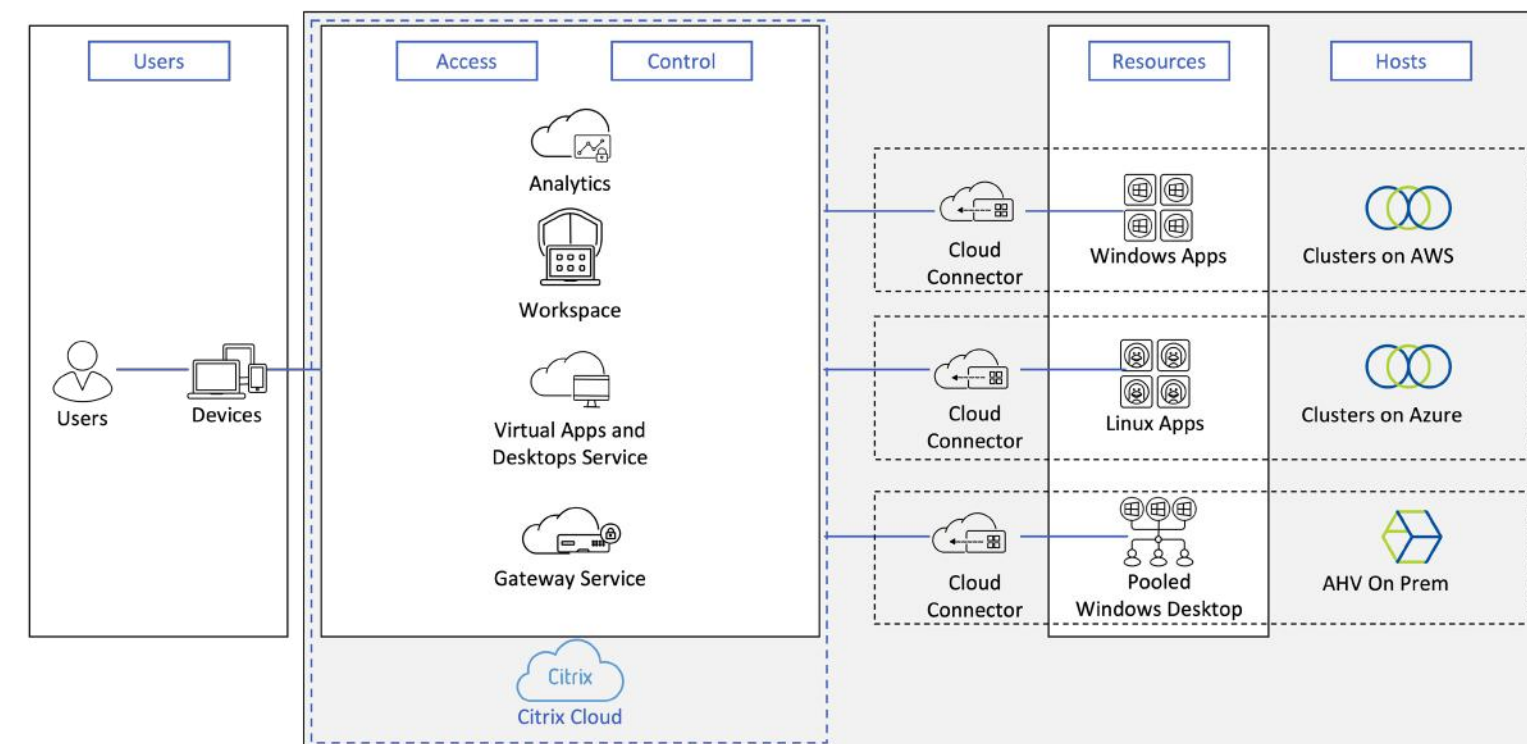
**CitrixとNutanixには、かれこれ10年以上にわたって、業界基準となるEUCソリューションを何千もの組織に提供してきた経験があります。両社の組み合わせで、オンプレミスとクラウド双方のアプリケーション、デスクトップ、およびデータに安全かつ迅速なアクセスをユーザーに提供できます。**

Nutanixクラウドプラットフォーム上でCitrix Cloudサービスを実行すると、あらゆるCitrix Workspaceテクノロジーに対するクラウドベースの管理と展開が可能になります。

つまり、レガシーデータセンターの複雑性を一切伴わずに、優れたユーザー体験を提供できるのです。デスクトップやアプリを管理するのと同じチームが、サーバー、ストレージ、および仮想化を容易に管理できます。日単位ではなく、数分単位で問題を解決しましょう。さらに、ユーザー数を500から50,000へと規模を拡大させる場合でも、リニアな費用およびパフォーマンスは確実に同一のままとなります。

Nutanix上で利用するCitrix Cloudサービスは、本当のハイブリッドおよびマルチクラウド性能を提供します。オンプレミスとパブリッククラウド間のシームレスなポータビリティのおかげで、2,000台のCitrix Desktopsを2時間未満でバーストできます。

また、Nutanix上で実行するCitrixのデジタルワークスペースソリューションでは、スモールスタートから必要に応じて拡張できるほか、ROIも優れています。顧客は、NutanixとCitrixの技術の組み合わせが設備投資(CapEx)と運用コスト(OpEx)を最大約164パーセント低減できることを実感しています。つまり、最短6ヶ月でソリューションの採算が取れるのです。





# 1. デジタルワークスペースサーバーとストレージリソース管理を簡素化する方法

アプリとデスクトップの仮想化には、高い性能を誇り、拡張可能な、管理しやすいサーバーとストレージが必要です。デスクトップ仮想化が台頭した時、組織は、管理、ストレージ、ユーザートラフィックに関して別々の物理ネットワークを持つ、サイロ化したブレードサーバーとSANストレージアプライアンスに依存していました。こうした「3層アーキテクチャー」はやるべきことをやってはいたものの、多くの落とし穴を伴ったため、仮想アプリおよびデスクトッププロジェクトを停滞させる事が多々ありました。

## 3層アーキテクチャーはクラウド向けに設計されていない

顧客は、SANが仮想化の初期費用を高める高額な買い物だと思っていました。SANは、元々サーバーワークロード向けに設計されており、ユーザープロフィール、アンチウイルススキャン、ブートおよびログインストーム、またその他のデスクトップ固有イベントを伴うデスクトップワークロード向けに調整されていませんでした。SANコントローラーとSANファブリックはそのアーキテクチャー上、事前に購入したコントローラーとスイッチのキャパシティによって、総合的なスループットの上限が本質的に定められていることがほとんどでした。時間の経過と共にユーザーが追加されていく中で、性能は低下する傾向にありました。

また、ブレードサーバーは高額でサポートも難しく、高額なシャーシと統合スイッチを必要としました。こうした新しいシステムでは、BIOSおよびそのほかのシステムファームウェアのアップデートがますます複雑になった上、物理システムへのパッチ適用には何時間もの保守時間枠が必要となる場合が多く、システムをオフラインにする事もありました。

こうしたシステムのセットアップおよびサポートに伴う複雑さと困難に対する暗黙の理解として、ベンダーは力を合わせて「コンバージド」アーキテクチャーを提供し始めました。しかし、このような提携でも、こうしたソリューションが抱える根本的なアーキテクチャー面の欠点を変える事はできず、3層アーキテクチャーの課題はほぼ変わらずに存続しました。

## HCIの登場: シンプル、素早い、コスト効率性が高いソリューション

10年ほど前から、複数のベンダーがハイパーコンバージドインフラストラクチャー (HCI) を提供し始めました。Nutanixを筆頭に、この動きは、ブレードサーバーと別々のストレージネットワークおよびアプライアンスの考えをなくして、従来のラックマウントサーバーと仮想ストレージコントローラーを提供しました。これは、SANコントローラー

が物理的である必要はないという仮定の下、ソフトウェア定義データセンターのテーマを引き継ぐものでした。その他全てのデータセンターワークロード同様、これは実証可能なメリットを伴う形で仮想化する事ができました。Nutanixは、これをさらに一歩進めて、「Webスケール」の原則に基づいた、本当のスケールアウト型アーキテクチャーを提供し始めました。インターネットの大企業が何千ものサーバーを組み合わせて稼働できるのであれば、他のビジネスにもできないはずはありません。

Nutanix上でデスクトップを仮想化する最大のメリットの一つが、データ局所性です。Windowsワークロードは、ローカルに添付されたドライブで構築されており、ディスクレイテンシが低い時に最高の性能を発揮します。Nutanixは、ネットワーク全体のデータを読み取りおよび書き込むのではなく、直接添付されたSSDによる低レイテンシを提供します。PCIコントローラーの読み取りは、ネットワークの読み取りよりも一桁分早まります。こうしたデータ局所性性能の最適化によって、Nutanixは他のストレージ提供品と比べて際立つ存在であり続けています。





---

## NUTANIX SHADOW CLONESが エンドユーザー体験を高める

データ局所性に加えて、Nutanixは、リンククローンイメージング技術専用Shadow Clonesを発明しました。つまり、非永続デスクトップ（特にCitrix Machine Creation Servicesを利用したもの）は、他のシステムと比べてはるかに早いペースでクローニングとブートを行う事ができます。この機能があれば、何百ものデスクトップのブートを5割増のペースで行う事ができます。要約すると、シャドウクローンは、仮想デスクトップをホストする一つひとつのサーバーのSSDドライブ上で頻繁にアクセスされる、各デスクトップのデータをキャッシュします。また、Citrix Machine Creation Servicesなど、リンククローンを利用して構築したマシンを検出すると、自動的に有効化します。

---

## 移植可能なサブスクリプションが 提供する選択の自由

元々、Nutanixはターンキーアプライアンスを提供していましたが、現在は大手サーバーベンダーであればどこでも利用できる、移植可能なサブスクリプションとしてライセンスされています。Nutanix Clustersでは、同じ移植可能なサブスクリプションを人気のパブリッククラウドのベアメタルサーバー上で利用できます。Nutanixは、サーバーとクラウドロックインの両方から解放してくれます。

---

## リニアかつ費用効率性に優れた拡張性

多くの仮想デスクトップが十数または何百ものユーザー向けに拡張していく中、大事なものはキャパシティをリニアかつ費用効率性に優れた形で拡張する事です。また、Nutanixは、Foundationと呼ばれるイメージングツールを使ってさらに有効化します。Foundationでは、一つから十数台に至るサーバーのクラスタを数時間以内に完全自動化した方法でインストールできます。クラスタを立ち上げて稼働した後は、サーバーを最小で一台ずつ追加できます。クラスタへのサーバーの追加またはクラスタからのサーバーの削除をダウンタイムなく行い、通常の営業時間中に保守作業を実施できます。

---

## ライフサイクル管理を自動化: 素早くて簡単、 かつ常時稼働

最後にご紹介するライフサイクル管理は、大量の物理サーバーを管理するNutanixの最新機能です。このテクノロジーは、Nutanixソフトウェアを実行中のあらゆるハードウェアおよびファームウェアを自動スキャンして、BIOS、ファームウェア、ソフトウェアの最新バージョンを探します。ライフサイクル管理は互換性を確認して、コンポーネントが正しい順番でアップデートされるよう万全を期します。Nutanixのあらゆる保守タスクがそうであるように、管理者がプロセスを開始します。しかし、システムが大半のアクティビティを自動化して、コンポーネントが再起動を必要とする場合は仮想デスクトップのライブマイグレーションを確実に行います。これによって、エンドユーザーへの影響なく性能とパッチ適用が加速されるほか、ITスタッフは深夜や祝日、そして週末に働く必要性がなくなります。



## 2. Citrix Virtual Apps and Desktopsの コントロールプレーンを簡素化する方法

**Citrixは、長年にわたってセキュアなリモートアクセスソリューションを提供してきました。現在、Citrix Virtual Apps and Desktops サービスは、エンドユーザーがどこからでも働ける柔軟性を提供しつつ、物理インフラストラクチャーに対するITの依存を減らしています。ITは、仮想アプリおよびデスクトップを容易に一元管理できるため、総所有コストを低減させながらITの可視性とコントロールを高める事ができます。**

従来のCitrix Virtual Apps and Desktops環境では、管理者がStudio、Director、Controllers、SQL、StoreFrontを含む、Citrixのあらゆる管理系コンポーネントの展開、更新、管理を行う必要がありました。こうしたコンポーネントは、いずれも冗長性と高可用性向けに構築するほか、最新状態に保つ必要があります。

Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスでは、Citrixがあらゆる管理系コンポーネントを展開・管理します。このサービスでは、組織が必要に応じて迅速に拡張できる柔軟性と俊敏性を提供しつつ、自社のイメージおよびリソースに対するコントロールを維持することができます。管理者は、オンプレミス、クラウド、またはハイブリッドであるかに関わらず、複数のリソースロケーションで仮想デスクトップアプリを管理する柔軟性を手に入れる事ができます。こうしたイメージは、現行リリースバージョンまたは長期サービスリリースバージョンで保持することができます。さらに、Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスは、ご利用環境に常に最新機能およびセキュリティパッチを備える事で、面倒な管理タスクをシンプルかつ効率的にこなせるようにします。

Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスは、ソリューション構築にあたって複数の選択肢を備えています。リソースは、お客様の環境と固有のビジネスニーズに合わせてオンプレミス、パブリッククラウド、またはハイブリッドアプローチでホスティングできます。Citrix Tech ZoneのTech Briefでは、Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスの詳細、異なるサポートアーキテクチャーのシナリオ、そしてCitrix Virtual Apps and Desktopsサービスに移行するメリットについてご紹介しています。





### 3. デジタルワークスペースソリューションの 仮想化およびファイルサービスを簡素化する方法

デジタルワークスペースでは、ユーザーデータをホスティングするためにエンタープライズクラスのハイパーバイザーと高性能システムが必要です。また、ほぼインビジブルで意識する必要が無いほど使いやすく、ビルトインでなくてはならない点も重要です。

Nutanixがサービスを提供する以前、ほとんどの顧客は第三者ベンダーから別々のハイパーバイザーのライセンスを得ていましたが、これには特別なトレーニングと複雑なアップグレードが必要でした。こうしたハイパーバイザーアーキテクチャーは、高可用性を発揮するには手動構成をしなくてはならない、別々の管理ソフトウェア(これもライセンスが必要)に依存していました。しかし、これはあまりにも複雑であったため、実装する顧客はほとんどいませんでした。

ユーザーデータを扱うファイルサービスでは、NASアプライアンスのような専用ハードウェアまたは仮想マシンとの複雑なクラスタ構成が必要でした。こうしたファイルサーバーシステムの管理は、別々かつ非直観的に行われます。規模が大きくなると性能にバラつきが出る事が多く、トラブルシューティングが難しい断続的な性能上の問題につながります。

全てのNutanixシステムにはビルトイン型ハイパーバイザー (AHV) が含まれており、これはNutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャー クラスタおよびパブリッククラウド上で仮想アプリおよびデスクトップを実行するように最適化されています。AHVの管理は非常に直観的であるため、ほとんどの管理者は正式なトレーニングを必要とせず、実装から数週間で問題なく扱えるようになります。

ハイパーバイザー管理ソフトウェアはNutanixクラスタにビルトインされているため、常に高可用性でインストールも不要です。Nutanixの自動データマイグレーションツールであるMoveは、既存の永続デスクトップまたはベースイメージを他のハイパーバイザーやパブリッククラウドからインポートします。このツールは背景でデータのシード処理を行い、必要なNutanixドライバーをインストールして、問題が起きた場合でも簡単にロールバックできます。

Nutanix Filesは、同じPrism管理インターフェースから管理可能なスケールアウト型クラスタファイルサービスソリューションです。Filesには、ビルトインバックアップとユーザーリストア機能が備わっているほか、Nutanixの卓越したストレージ性能の恩恵を受ける事ができます。また、ユーザーの仮想デスクトップと同じハードウェア上でも実行可能なため、一体型ソリューションを実現します。一つひとつのNutanixクラスタには、1 TB分のユーザーデータのライセンスが含まれているほか、必要に応じて追加キャパシティもライセンスできます。また、Filesは、データアナリティクスも提供しており、ユーザーデータに関するより一層の洞察を手に入れる事ができます。





## 4. デジタルワークスペースセキュリティを簡素化する方法

**Citrix Gatewayサービスは、幅広いIDおよびアクセス管理の選択肢を伴う、セキュアなリモートアクセスを提供します。Citrix Gatewayをオンプレミスで展開する際、管理者は、複数のサイト、パブリックIPアドレス、ネットワークデバイス、そしてファイアウォールルールの実装および保守に関する責任を負います。Citrix Cloud内にホスティングされたCitrix Gatewayサービスは、管理の過剰負担を取り除きながら、追加のメリットも提供します。**

Citrix Gatewayサービスでは、Citrix管理者がネットワークアプライアンスを実装するため、常に最新の機能とセキュリティパッチを手に入れる事ができます。また、これによってオンボーディングも加速でき、事業規模の成長に応じて拡張する事ができます。さらに、Citrix Gatewayサービスは世界中の複数のPoPで稼働できるため、管理者が追加ハードウェアを展開する必要なく高可用性を確保できます。

沢山の従業員がリモート勤務している状況では、セキュリティを最優先しなくてはなりません。では、エンドユーザーが生産性を確保できるように柔軟性を提供しながら、自社の知的財産を保護するにはどうしたらよいのでしょうか? Citrix Secure Workspace Accessサービスでは、管理者が完全なエクスペリエンスを提供できます。これには、エンドユーザーにシングルサインオンのリモートアクセス、ならびにコンテンツ検査を提供する事も含まれます。また、管理者は、電子透かしまたは制限付きクリップボード機能など、高度なセキュリティポリシーによってSaaSアプリケーションをパブリッシュできます。

最後の重要な点は、エンドユーザーが生産性を高めるためにWebブラウザを利用するため、ブラウザベースの攻撃を受けやすい傾向にある点です。Citrix Secure Browserサービスでは、Webブラウザを分離する事で、こうした攻撃から企業ネットワークを守ります。完全に分離され、企業ネットワークから切り離されたWebブラウザを展開する事で、知的財産を保護しながら、エンドユーザーが必要なツールを提供できます。

全般的に見て、Citrix Cloudサービス (Citrix Virtual Apps and Desktopサービス、Citrix Secure Browserサービス、そしてCitrix Gatewayサービスを含む) は、仮想ワークスペースの管理に伴う複雑性を排除しながら、エンドユーザーにセキュアなリモートアクセスを提供する上で必要なツールを提供します。現在は、ユーザーがどこからでも働けるようになる、柔軟なソリューションを提供する事がこれまで以上に重要になっています。





## 5. レポート作成、分析、および問題修復を簡素化する方法

**情報過多は現実の問題となっており、管理者は、自分たちの環境で問題に予防的かつ受動的に対処するために必要な情報を入手しづらくなっています。Citrix Analytics for Performanceは、ご利用環境における主要な性能指標の記録、集積、視覚化を可能にするサービスです。これは、異なるデータソースからデータを収集する事で、管理者に環境の包括的な視点を提供し、環境の予防的な修復を可能にする手引きとしての洞察も提供します。Citrix Analyticsは、その異なるダッシュボードを通じて容易に扱いやすいデータならびに適応可能なアクションを提供できます。**

ユーザーエクスペリエンスダッシュボードは、ユーザーエクスペリエンスに関する情報を管理者に示します。Citrix Analyticsはマルチサイトアグリゲーションを行う事で、管理者が環境の包括的ビューを手に入れたり、特定サイトの取り除きを容易に行えるようにします。Citrix Analyticsはクラウドサービスであるものの、オンプレミスおよびクラウド環境の双方に関する情報を収集できます。

ユーザーエクスペリエンススコアは、ユーザーセッションに影響を与える異なる性能要因 (セッションログイン継続時間、セッション応答性、セッション可用性、セッション回復力を含む) に基づき算出されます。こうした要因には、いくつかのサブ要因も関連しています。また、顧客一人あたりをベースに動的に算出され、過去30日間に収集したメトリクスに基づき再調整されます。これは、環境で起きた変化を考慮して行われます。管理者は、ユーザー

エクスペリエンスが低下した理由を厳密に精査して、その要因およびサブ要因を深く掘り下げることができます。Citrix Analyticsは、ユーザーが最適なエクスペリエンスを得ていない場合の洞察を管理者に提供する事もできます。こうして、管理者は問題が深刻化する前に予防的に解決できます。

エンドユーザーエクスペリエンスの分析以外にも、Citrix Analytics for Performanceはマシン統計を提供します。これによって、管理者は、CPUまたはメモリ使用率の高さをセッション障害または劣悪なユーザーエクスペリエンスと相互に関連づける事ができます。また、Citrix Analyticsは、通信エラーやブラックホールマシンによる障害など、障害関連の洞察を提供できます。管理者は、Citrix Analyticsダッシュボードから直接アクションを完了する事ができるため、再起動を行ったり、マシンを保守モードにする事ができます。Citrix Analytics for Performanceは、マシンが最適で健全な状態にあり、エンドユーザーが最大限に優れたエクスペリエンスを得られるようにするためのツールと情報を管理者に提供します。

プランニングとサイジングは実装前の重要なコンポーネントであるものの、ユーザーエクスペリエンス関連の問題は環境に根深く関わっている場合があります。環境の管理者は、素早く掘り下げて、劣悪なユーザーエクスペリエンスを引き起こしている性能上の問題の根本原因を明らかにする必要があります。Nutanix Prism®の単一管理インターフェースを通じて利用可能なあらゆるデータとツールを使う事で、管理者はボトルネックの早急な特定

が可能になります。さらに、Prismはインフラストラクチャーのどこに問題が存在するのか管理者に通知する事で、発見までの時間を大幅に削減できます。

基盤となる問題の特定が最初のステップとなりますが、最終的には問題の迅速かつシンプルな解決が目標になります。

例えば、メモリが少なすぎる状態で仮想デスクトップを構成すると、管理者が一つひとつのデスクトップにメモリを追加するのに余りにも多くの時間がかかってしまいます。Prism X-Play™自動化ツールを利用する事で、管理者はゼロコーディングでタスクを自動化して、運用上の生産性を直ちに高める事ができます。さらに、Nutanix X-Playの管理者は、特定の条件またはアクションを検知した際、自動的にトリガーするポリシーをセットアップできます。

どの企業も、規制当局の監督から逃れる事はできません。遅かれ早かれ、規制を順守して環境内の変化を報告する必要があります。Nutanixは同一のインターフェースを通じて、行われたアクションを表示する堅固なレポートエンジンを提供するだけでなく、より多くのユーザーの追加または会社のアセット獲得など、将来的に予想されるイベントに関連したWhat-ifシナリオを提示できます。



## 6. 統合型ワークスペースを簡素化する方法

これまで、エンドユーザーが作業を終わらせるには仮想アプリおよびデスクトップがあれば十分でした。しかし、現在の状況は大きく異なります。エンドユーザーが必要なWebとSaaSアプリの数は大幅に増加しています。さらに、エンドユーザーは自分たちのファイルとデータにアクセスできなくてはなりません。Citrix Workspaceは、SaaSアプリ、Webアプリ、Windowsアプリ、Linuxアプリ、デスクトップ、そしてデータへのユーザーアクセスをあらゆるデバイスから提供します。これは、アプリがホスティングされている場所に関わらず、SSOとの統一されたエクスペリエンスを提供できます。こうして、ユーザーは場所やデバイスを問わずに働き、生産性を最大限に高めることができます。

エンドユーザーは、ブラウザまたはローカルインストールされたCitrix Workspaceアプリ(Android、Chrome OS、HTML5、iOS、Linux、Mac、そしてWindowsで入手可能)を介して、ワークスペースにログインする柔軟性を手に入れることができます。エンドユーザーは、管理者によるCitrix Workspaceの構成方法に応じて、自分のクレデンシャルで認証を行います。Citrix Workspaceでは、管理者が複数の選択肢から主なIDを選択できます。ユーザーに提供されるサービスの多くでは、ユーザーワークスペースのプライマリIDとは異なるIDが必要となりますが、Citrix WorkspaceはSSOアクセスを提供できます。Citrix Workspace IDの詳細をご覧ください。

ユーザーは自分たちのワークスペースへのログインを認証されると、管理者が提供する異なるリソースを確認する事ができます。管理者はマイクロアプリを通じて、関連性のある実行可能な通知、そして直観的ワークフローを提供できます。こうして、ユーザーはコンテキストスイッチを減らして、異なるアプリケーションの利用方法を学ぶ必要性を排除できるため、時間の節約につながります。さらに、エンドユーザーは、マイクロアプリ内に記録されたユーザー起動のアクティビティにアクセス可能であり、これがビジネスアプリケーションのアイデアに繋がります。Citrix Workspaceおよびマイクロアプリの詳細をご覧ください。

Citrix Workspaceを通じて、管理者はCitrix Virtual Apps and Desktopsへのアクセスを提供できます。Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスでは、管理者があらゆるエンドポイントから高性能なWindowsおよびLinuxアプリケーションをセキュアに提供できます。Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスでは、オンプレミスデータセンターとパブリッククラウドワークロードをハイブリッド環境で管理できます。Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスの詳細をご覧ください。

エンドユーザーは自分たちのファイルにアクセスできなくてはなりません。Citrix Content Collaborationでは、管理者がビジネスクラスのファイル共有、合理化されたワークフロー、そしてリアルタイムのコラボレーションを提供できます。Citrix Filesでは、ユーザーがこうしたファイルに場所とデバイスを問わずにアクセスできるため、ファイル共有をより簡単かつセキュアにします。

管理者は、Citrix Workspaceを利用する事で、場所を問わずにエンドユーザーの生産性を高めて、必要な柔軟性を提供できます。

Citrix Workspaceは、情報、アプリ、そしてユーザーの役割と組織に関連するその他のコンテンツへのセキュアアクセスを提供する、完全なデジタルワークスペースソリューションです。





## 7. 事業継続性とハイブリッドマルチクラウドを簡素化する方法

**現代のワークフォースを維持するには様々な課題を克服する必要があるため、一筋縄ではいきません。デスクトップおよびユーザーデータは、災害発生時にもビジネスが稼働し続けられるよう、複数の地理をまたいで利用できなくてはなりません。エンドユーザーの一部は、このデスクトップおよび特殊アプリにあまりアクセスする事はありません。こうしたソリューションを従来のオンプレミス型データセンターにホスティングすると、経済的にも理にかなっていません。ここ数か月の間で明らかになったように、エンドユーザーは自宅またはリモートロケーションで働く必要があるかもしれません。従来のオンプレミス型ソリューションでは、ワークスペースモビリティにおける急速な変化に合わせて数時間以内に拡張し、アクセス要求を増やす事ができません。多くの企業は、自社のオンプレミス環境を補強するために、クラウドプロバイダーを活用する事の価値に気が始めています。しかし、別々のインフラストラクチャーを保守するのはとても複雑であり、特殊なレプリケーションを必要とします。**

Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスは、ユーザーが場所を問わずに働くために必要なツールを提供できます。Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスでは、管理者がイメージをオンプレミスに保ちながら、クラウドでサービスとしてのデスクトップ(DaaS)を利用できるようにします。こうして、オンプレミス型仮想デスクトップおよびアプリで障害が発生した場合や、需要が高まって仮想デスクトップおよびアプリの過剰負担につながった場合でも万全の体制で挑む事ができます。Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスに移行する事で、ITはビジネスニーズに集中でき、エンドユーザーは最新機能を活用できるようになります。Citrix Cloudサービスでは、自分のペースでクラウドに移行できます。ハイブリッドなマルチクラウドのアプローチによって、各アプリケーションをホスティングするのに適切なデータセンターまたはクラウドを柔軟に選択できます。

Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスは、クラウドおよびハイパーバイザーに依存していません。ログインを回避して、リソース選択の本当の柔軟性を組織に提供できます。Citrix Cloudサービスにおいて、ビジネスは新しいインフラストラクチャーを展開せずに、ディザスタリカバリまたは事業継続性イベントに対応するための俊敏性を手に入れる事ができます。管理者は、Autoscaleを活用して、まずはオンプレミスのリソースを優先して、オンプレミスのキャパシティを使い果たした場合にのみクラウドバーストする事ができます。管理者には、自分のパブリッククラウドテナント内、またはフルマネージド型DaaSソリューションであるCitrixのAzureテナント内で展開する選択肢があります。自社の事業継続性戦略におけるCitrixの活用方法の詳細については、こちらのリファレンスアーキテクチャーをご覧ください。

クラウドに移行する際に検討するべきその他のポイントとして、クラウドベースソリューションのアップタイムとフォールトトレランスが挙げられます。Citrix Cloudサービスは、高可用性を念頭に構築されています。Citrix CloudのSLAは、毎月最低でも99.9パーセントのアップタイムを保証しています。Citrix Cloudサービスは、Azure可用性ゾーンを利用する事で、必ずブローカーと関連データベースがクラウドのサービス停止に対する回復力を備えるようにしています。特に、Citrix Virtual Apps and Desktopsサービスには、回復力とフォールトトレランスを可能にする各種機能があります。Rendezvousプロトコルは、HDXセッションがCitrix Cloud Connectorsを迂回し、Citrix Gatewayサービスと直接つながるようにします。サービス継続性を手に入れたユーザーは、クラウドサービスの健全性ステータスに関わらず、仮想アプリおよびデスクトップを立ち上げる事ができます。サービス持続性機能により、ユーザーデバイスがリソースロケーションとのネットワーク接続を維持している限り、ユーザーはサービス停止時にも自分の仮想

アプリおよびデスクトップとつながる事ができます。ユーザーは、Citrix Cloudコンポーネントまたはパブリックおよびプライベートクラウドにおけるサービス停止時に、仮想アプリおよびデスクトップと繋がる事ができます。ユーザーは、リソースロケーションに直接、またはCitrix Gatewayサービスを通じて接続できます。こちらのDeep Diveから、Citrix Cloudサービスが回復力を念頭に構築されている様子をご覧ください。

CitrixのソリューションをNutanix Cloud Platformのシンプルさおよび回復力と組み合わせる事で、組織はエンドツーエンドの可用性を提供し、継続的な事業活動を確保できるようになります。事業継続性を求めて様々なクラウドプロバイダーを活用するのはクレジットカード一枚で非常に簡単ですが、リスクや運用上の非効率性が付きものです。それぞれのクラウドプロバイダーには、固有の管理プレーン、ネットワークスタック、セキュリティ管理があります。Nutanix Clustersは、自動インストールと単一管理インターフェースをAWSやAzureなどのパブリッククラウドベアメタルオファリングにもたらすことで、こうした問題に対処しています。管理インターフェースと共に、Nutanix Clustersでは需要の増加に合わせてゼロダウンタイムでスケールアウトできます。

単一管理インターフェースを活用して、ユーザーデータおよびアプリケーションの有効化、管理、監視、レプリケーションを行う事で、特殊ツールは必要なくなり、コストと運用上の複雑性を低減できるようになります。レプリケーションは、同一クラウドプロバイダーまたは異種のプロバイダーをまたいで(オンプレミスソリューションを含む)、ポイントツーポイントまたはマルチポイント構成で有効化できます。サイト間のレイテンシおよびビジネス要件次第で、Nutanixは最短1分のRTOを提供できます。



## まとめ

このように、Nutanix上でCitrix Virtual Apps and Desktopsを実行した場合、利用するクラウド、デバイス、ロケーション、および規模に関わらず、アプリ、仮想デスクトップ、保護データへのシームレスなアクセスを可能にする、本当のハイブリッドおよびマルチクラウドなデジタルワークスペースソリューションが手に入ります。

NutanixとCitrixのエキスパートは、そのスキルと専門知識を活用して、お客様が組織のために適切な判断を下せるようサポートします。お客様は、安心してCitrix Virtual Apps and Desktopsをハイブリッドマルチクラウド環境で展開・稼働できます。

詳細は[nutanix.com/jp/solutions/vdi/citrix](https://nutanix.com/jp/solutions/vdi/citrix)からご覧ください。 **NUTANIX** | citrix



詳細は [nutanix.com/jpsolutions/vdi/citrix](https://nutanix.com/jpsolutions/vdi/citrix)  
からご覧ください。

NUTANIX | citrix